

平成27年 9月13日

愛知県環境部長殿

愛知県新城市 富岡代表区長 中 村正 昭



愛知県新城市 黒田区長 伊 藤 公 雄

愛知県新城市 一織田区長 中 西 忠 史

愛知県新城市東清水野区長 森 田 敏 行



(有)タナカ興業新城工場(申請中)に係る技術的な懸念事項について(その3)

平成27年8月20日には、ご多用のところ面談の機会をいただきありがとうございました。

さて、当地では、9月6日(日)に市民グループが開催した「産廃問題を検証するフォーラム」において、千葉県職員の石渡正佳氏のお話しを聞く機会がありました。氏は現地の建物を外部から視察し、外観から『脱臭装置が小さすぎる、必要規模の5~6分の1ではないか。』と指摘されていました。

平成26年8月に新城市が新発田市の施設を視察した際、市議会の報告書によれば、日量30トンを扱う新発田市米倉の施設はロックウール脱臭装置の容量が550㎡であるのに対して、日量最大120トンを扱うタナカ興業の計画のそれは515㎡しかなく、石渡氏の指摘とほぼ合致します。

つきましては、処理量と脱臭装置の能力について、改めて検証・検討をしていただきたく、懸念事項(その3)として別紙資料を添えてお送りします。